

さくらちょうしょう

桜町小だより

「緑と笑顔がいっぱい桜町小」

児童数 339名

令和7年10月号

令和7年10月 1日発行



もっと学びたくなる桜町小へ！

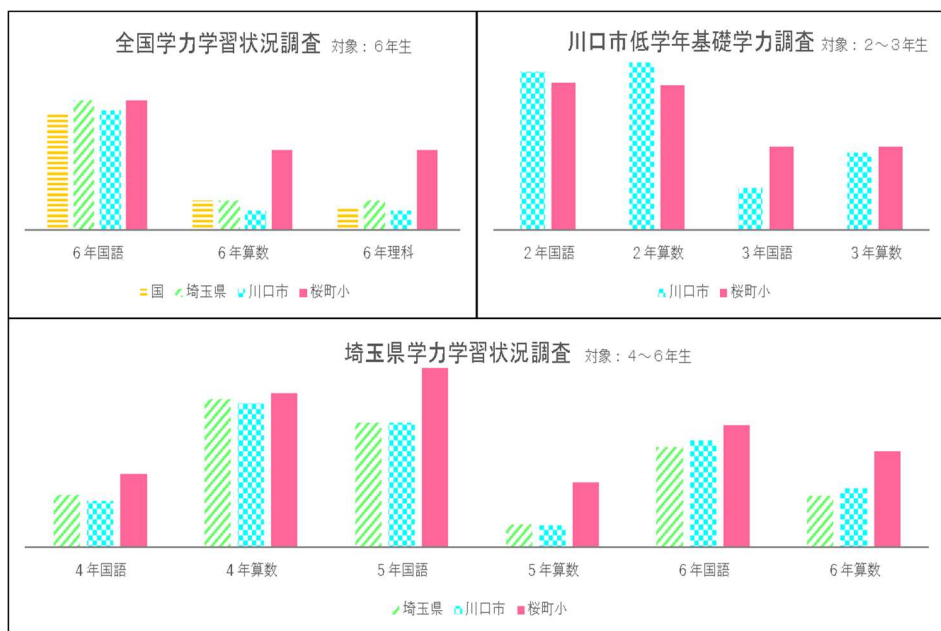
～ 学校で学び 家庭でしつけ 地域ではぐくむ さくらっ子 ～



校長 齊藤 敦史

記録的な猛暑もようやく落ち着き、金木犀の香りや鈴虫の鳴き声など秋の訪れを感じさせる季節がやってまいりました。学校では、今月開催予定の運動会に向けて、子供たちの元気いっぱいなかけ声が響いております。

先月末、年度当初に実施した各種学力調査の結果が返却されました。学力向上に向けた様々な取組により、子供たちに成果が見られましたのでお知らせいたします。



左記の結果を見ると、今年度は多くの学年で、国や県、川口市の平均を上回っていることが分かります。また、学年が上がるに従い、その差が開いている様子も見られました。これは、各学年で学ぶべき事項を漏らすことなく、基礎基本の習得を徹底してきたことで、翌年以降に行う学習への深い理解に繋がったことと思われます。この他、質問紙調査でも、他校の子供たちに比べて本校の児童は、学習への意欲や理解が自信や成功体験と

なって、学校生活への楽しみや安心感の醸成に繋がっていることも判明しました。

本校がこれまで継続してきた専科教員による専門的かつ丁寧な指導や、今年新たに開始した教科担任制、子供たち同士での話し合いによる協働的な学び、日常生活と関連付けた興味関心を高める体験的な学び、宿題や家庭学習などご家庭の協力も含めて、さくらっ子の実態に即した学びの展開が、上記の成果となって表れたと考えられます。改めて、本校が進めてきた(現在進めている)取組は、子供たちが感じる感覚的にも、そして実際の成績としても、それぞれ効果が高いことが分かりました。

この結果を踏まえて(もちろん課題も出ておりますので、一つ一つ解決しつつ)、本校では、これからも『学ぶってたのしい(5月号)』⇒『もっと学びたくなる学校』に向けた取組を進めてまいります。

とはいえ、学校は勉強するだけの場ではありません。多くの友だちと共に、仲良く協力して、様々な経験を積むことにより成長の機会とする貴重な場でもあります。その最も効果的な機会が学校行事です。今月は運動会、来月には音楽会、そして各学年でも、校外学習や様々な体験活動が予定されております。ぜひ、積極的に参加し、一層の成長を遂げていただきたいと願っております。運動会当日は、職員一同、皆様のお越しを心よりお待ちしておりますと共に、さくらっ子皆の活躍を願い、全力で応援してまいります。

ご家庭や地域の皆様におかれましては「学校で学び 家庭でしつけ 地域ではぐくむ さくらっ子」の思いを共有していただき、今月も引き続き、本校教育活動へのご理解・ご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。